

国際原子力機関（IAEA）グロッシー事務局長による
柏崎刈羽原子力発電所ご視察について

2025年2月19日
東京電力ホールディングス株式会社

2月18日、国際原子力機関（IAEA）のラファエル・マリアーノ・グロッシー事務局長に、柏崎刈羽原子力発電所をご視察いただきました。

このたびのご視察では、防潮堤や緊急車両、空冷式ガスタービン発電機等の安全対策設備や、セキュリティ対策の一部をご覧いただきました。

ご視察後、グロッシー事務局長からは、「発電所のセキュリティとアクセスに関する管理・監視体制を確認し、その結果に非常に満足している」、「この約15年間であらゆる対策が講じられてきており、再稼働することについて一定の根拠があると確信している」と評価をいただいた一方、「この努力は今後も継続していく必要がある」とのコメントをいただきました。

また、「この発電所の再稼働は象徴的であると同時に、日本のエネルギー環境に目に見える影響を与えるものだと言える」と、再稼働の意義についても言及いただきました。

当社は、引き続き発電所の安全性・信頼性の維持・向上に努めるとともに、広く社会の皆さまにその状況をご覧いただき、信頼される発電所を目指してまいります。

以上

<写真>

[国際原子力機関（IAEA）グロッシー事務局長による柏崎刈羽原子力発電所ご視察](#)